

2019年度：第2回麻生ふるさと交流会

日 時：2019年7月20日（土）13:30～17:00（開場：13:00）

場 所：麻生市民交流館やまゆり 新百合丘駅より徒歩5分

第1部：お国自慢発表会（司会：辻村さん） 13:30～15:50

★会長挨拶 13:30～13:35

① 講演会：演題“100年前のオリンピック” 13:35～15:05

～初めて五輪に参加した「いだてん」の真実～

講師：佐藤 次郎 様（元東京新聞記者）

②麻生ふるさと交流会の“歩み”…横田さん他 15:15～15:40

～今後の活動の活発化について話し合おう！～

③事務連絡…事務局 15:40～15:50

★会歌“ふるさと”合唱

第2部：懇親会：（司会：宮本さん） 16:00～17:00（参加費：1,000円）

講師の佐藤様を囲んで、楽しく歓談しましょう！

「ふるさと」(故郷)

文部省唱歌

- | | |
|-------------|-----------|
| 1. 兎追ひし彼の山 | 雨に風につけても |
| 小鮒釣りし彼の川 | 思ひ出づる故郷 |
| 夢は今も巡りて | |
| 忘れ難き故郷 | 3. 志を果たして |
| | いつの日にか歸らん |
| 2. 如何にいます父母 | 山は青き故郷 |
| 恙無しや友がき | 水は清き故郷 |

麻生ふるさと交流会

2019年7月20日(土)

100年前のオリンピック

会員外の方も大歓迎!(参加費なし)

～初めて五輪に参加した「いだてん」の真実～

① 講演会

日時:2019年7月20日(土)13:35~15:05

場所:麻生市民交流館やまゆり 新百合丘駅より徒歩5分

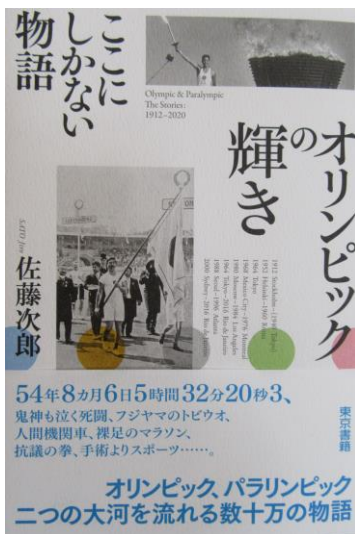
お話:

- ・日本がオリンピックに初めて参加したのは1912(明治45)年。
- ・そのころ、日本のスポーツはまだ黎明期にあった。
- ・指導者も文献もいっさい見当たらない中で、自ら考え、工夫して未知の世界へと船出した初期のオリンピック。
- ・屈辱の惨敗を乗り越え、世界の高みを目指した「いだてん」たちの真実とは…。
- ・「幻の東京オリンピック」(1940)、東京大会(1964)
- ・そして、2020東京オリンピック・パラリンピックはどうなる…。



明治45(1912)年 オリンピック
ストックホルム。日本の初参加。

講師:佐藤 次郎 様:【プロフィール】



- ・1950年横浜生まれ。
- ・中日新聞社に入社し、同東京本社(東京新聞)の社会部、特別報道部などをへて運動部勤務。夏冬合わせて6回のオリンピック、5回の世界陸上を現地取材。
- ・運動部長、編集委員兼論説委員を歴任したのち、2015年退社。スポーツライターとして活動を続けている。
- ・ミズノ・スポーツライター賞、JRA馬事文化賞を受賞。
- ・著書に「東京五輪1964」(文春新書)「義足ランナー 義肢装具士の奇跡の挑戦」(東京書籍)「砂の王 メイセイオペラ」(新潮社)等。
- ・近著:「オリンピックの輝き ここにしかない物語」(東京書籍)

②麻生ふるさと交流会のあゆみ 横田委員 15:15~15:40

【懇親会】:自由にご参加ください。

16:00~17:00 (参加費:1,000円)

講師の佐藤様を囲んで、楽しく歓談しましょう!

